



早く皆様と
会えますように

お楽しみ献立
六月二十五日に、お楽しみ献立として、松花堂弁当を提供しました。弁当の内容は、押し寿司・天ぷら・漬物・炊き合わせ・味噌汁・メロンです。
厨房スタッフの手作り弁当を皆様、夢中に召し上がっておられました。次回は、どんな献立でしょう。お楽しみに。



天ぷら最高!



鮮やかな
お弁当



いただきます



お弁当に夢中!

面会について
新型コロナウイルスによる、感染対策が続く毎日ですが、ご家族様におかれましては、ご利用者との面会の制限の中、ご心配をおかけして对不起です。
七月一日より、条件付きではありますが、対面式の面会を再開しております。面会の際は事前に施設に連絡を頂きますと、時間の調整が出来ますのでよろしくお願い致します。面会を希望される場合は
①事前の施設連絡をお願いします。
②施設にお越しの際は、マスク着用。事務所前にて検温、手指消毒。面会簿への記入。
③十五分間、ご利用者とアクリル板越しの面会実施。一回二名様までです。
④小中学生以下の方は、ご遠慮下さい。(但し、ご希望があればリビング窓越しの面会を検討致します。)
感染対策については、継続中ですので、ご協力の程、よろしくお願い致します。
【編集後記】
雨も多くジメジメしますが、適度な換気と適度な距離を心掛け、早く日常生活が戻るといいですね。

相談員日誌

「面会再開」

宮本 隆幸

7月も後半に差し掛かり、梅雨も明けようとしていますが、これから暑さが本格化するに比べて参ります。季節の変わり目、ご家族、入居者様の体調が守られます様にお祈りします。
ご利用者のコロナワクチン接種も終了し、感染対策も当初と比べて軽くなり、面会が十五分可能となりました。昨年、三月から始まった感染対策。ご利用者の面会が出来る様になるまでは非常に長かったと思います。病院への受診付添、窓越し面会のみでなければ、会話が出来なく、ご利用者にとっては、大変辛い、長い期間でした。感染状況によつては面会制限がかかる可能性もあります。このままプラスに向かつて欲しいと願っております。
現在、都内では、緊急事態宣言が敷かれており、新型コロナウイルスに、出口が見つからない日々ですが、感染者ゼロの日が来る事を願い、入居者の健康も守られる事を願うばかりです。

六月のボランティア

※他ボランティア様の受け入れは、感染症対策の為、受け入れを中止しております。
いつも尊い働きありがとうございます。

7月に入り、特養入居者の方々には、対面での面会をして頂くこととなりました。再開の時機を見計らっていましたが、ワクチン接種が進んだおかげです。やはり、ご家族様の顔を見る、言葉を聞く、雰囲気を感じることは、お年寄りにとって、必要なことです。
先日、連日で、病院で診察を待ったり、病状説明を受ける機会がありました。感染対策により、病室での面会をする事も、ご限られており、これまでの面会のあり方から大きく変わっていました。
一日目に病室の中で待機した時、耳に聞こえてきた、お年寄りを叱咤するような声色。恐らく、廊下を使って、リハビリの歩行訓練を受けていたのだと思います。機能指導の人の意図はわかりませんが、鼓舞する雰囲気とは遠く感じました。次の日、ある病室から、看護師が話しかけている言葉が聞こえてきました。恐らく、耳の遠い、お年寄りの患者さんです。何度か、同じことを繰り返して伝えているような内容でしたが、思いやりを近くに感じました。聞いていて心が温かくなりました。
病院で待つ時間は、人によっては、緊張の高い時間。その中で、あの看護師さんの言葉かけの雰囲気、こちらも落ち着きました。キングスガーデンのお部屋にいるお年寄りにも、同じような温かさを日々味わって頂きたいと思います。



(NO396)
特別養護老人ホーム
筑波キングス・ガーデン
0297(24)5139



堀越 絹代様の紹介

堀越 透様(長男)
(ヘルパー主任 一部代筆)

絹代様は昭和十六年八月七日に、三人姉妹の三女として、新潟県佐渡島で生まれています。高校卒業後、日本ベッド株式会社に入社。結婚後は三人のお子様にも生まれています。畑仕事、好んでおられ、汗を流しておられました。性格は温厚で、怒っている事は殆どなかったようです。
施設での絹代様は、職員の声掛けに、軽く頷いたり、時折、ニコリ笑って声を出して下さいました。施設の食事にも合うようで、良く召し上がっていました。特に甘いデザートをお好みます。ベッド上でのリハビリも、作業療法士が行う可動域訓練の際は、嫌がる様子もなく協力的に行っていました。

コロナ禍の昨今ですが、何か一つでも絹代様に楽しんでいただけるよう、スタッフ一同で話し合い、一生懸命にケアを行っていきます。



手作りの黄色いバラです



愛を込めて花束を



抹茶のケーキを
召し上がれ

父の日

親の日のヘルパー副主任 越路直弘

六月十八日、父の日の行事として、ケーキとミルクティーを召し上がって頂きました。「今日は父の日ですよ。」と、男性ご利用者に伝えると「そうか、そうかと、相槌を打たれた昔のことを思い出している様でした。
コロナ禍ではありますが、行事を通して、昔のことを思い出して頂き懐かしんで頂けたらと思います。抹茶のケーキとオレンジゼリーも好評で、「もう一つありますか。」と、お道化をご利用者もいました。ご家族の言葉を代弁して一言。「お父さん、ありがとう。」また来年も、お祝いしましょう。

ハレルヤ。
主はまことにいつくしみ深い。
詩篇135編3節



ホームページ

七月の誕生者

中島とめ様 百歳
栗崎勝三様 五十九歳



お誕生日おめでとうございます

自然の大きな変化の中で
理事長兼総合施設長 宇都宮和子

七月に入り、不順な天気が続く中、熱海市の土石流災害、何故、如何にして心痛む映像に驚かばかりです。施設として、は徐々に面会も進めている時だけに、二〇一五年九月の降り続いた豪雨で鬼怒川が決壊、水の怖さが脳裏をかすめます。又、世界的にもカナダ、アメリカ、特にシアトルでは記録的な猛暑が続き、熱射病で病院に運ばれる人が後を絶たず、病院の環境もコロナのパンデミックが始まったような状態になっているという。シアトルはキングス・ガーデンにとって大切な場所、やっと連絡が取れて安心、主に感謝です。内を見つめるとコロナ対策、外に目を向けると自然の大きな変化、自然は心地よい風も送ってくれますが、時には大きな厳しさも現れます。何故、山を削り太陽光や盛り土をするのか。子供の頃父と一緒に山に入り、父の姿から自然との交わりを見ました。「昔はこんな大きな土砂崩れなんかなかったのになあ...」ご利用者さんの一言が心に響きます。梅雨が明けたら、又暑い日々が続くと思いますので、お互いに健康に気を付けて、ご利用者さんに安心して生活して頂けるよう、これからは準備して行きたいと思ひます。主に折りつつ...